

鳥取県政15年

小中学生向けに鳥取県の取組を紹介しています。



鳥取県のマスコットキャラクター

～防災トリピーからのお知らせ～

見るだけでなく、参加したり体験したりして楽しみながら防災のことを知ることができるイベント「とっとり防災フェスタ」が開かれるよ。僕も行くからみんなも来てね～
 日時：10月3日(土)午前10時から午後3時まで 場所：イオンモール日吉津

鳥取県西部地震から15年

安心・安全の鳥取県を目指して



鳥取県西部地震ってなに？

鳥取県西部地震は、今から15年前の平成12年10月6日午後1時30分に鳥取県の日野町を中心に起こった地震だよ。地震の大きさを表すマグニチュードは7.3で、有名な阪神・淡路大震災と同じ大きさの地震だったんだよ。



日野町や境港市をはじめとした鳥取県西部で大きな揺れが起こったよ。幸いにも亡くなった人はいなかったけれど、多くの方が負傷し、家がたくさん壊れたよ。(重傷31人、軽傷110人、全壊家屋394戸、半壊家屋2,494戸など)

さらに、山の斜面が崩れて道路がふさがれたり、電気・ガス・水道が15,000件も止まったりして、地震の後も長い間みんなの生活に影響があったよ。



メモ 東日本大震災



東日本大震災の津波

平成23年3月に起こった東日本大震災は、これまで日本で観測した地震の中で一番大きな地震だったよ。大きな津波が発生して、たくさんの方が亡くなったんだ。4年経った今でも、地震の影響で元通りの生活に戻れず、多くの方がプレハブの仮設住宅などで避難生活を送っているんだ。

地震や津波に備えてできること

地震はいつ起きるか分からないから、普段から準備して、落ち着いて自分の身が守れるように訓練してね。



① 部屋の安全対策をしよう

地震が起こると家の中の家具は倒れたり、移動したりするよ。家具を固定したり、配置を変えたりして安全な部屋にしよう。



② 身を守る訓練をしよう

地震のときには、
 ①「体を低くする」
 ②「頭を守る」
 ③「揺れが収まるまで動かない」こと。
 学校での避難訓練などで普段から身に付けよう。



③ 避難できるようにしよう

地震の揺れが収まったら、安全な場所に避難しよう。特に海の近くにいるときには津波から逃げるために高いところに避難することが大切だよ。どこに避難すればいいか、普段から考えておこう。



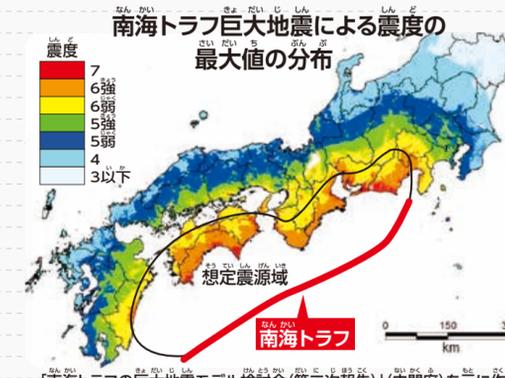
④ 対応を家族で話し合おう

地震のときには、電話が繋がらなったりして家族と連絡を取りにくくなるよ。地震が起きたら自分で自分の身を守ることに、連絡を取る方法、安全になったら集まる場所について話し合ってみよう。



メモ 南海トラフ巨大地震

今後発生が予測される南海トラフ巨大地震は、東日本大震災と同じくらいの大きさで、更に大きな被害を受けるかもしれないと言われているよ。地震はいつ起こるか分からないので、普段から備えることが大切だよ。



「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」(内閣府)を元に作成